

「感性を育む」

人間の感性が成長するか否かは、人との出会いによる。出会いは後天的に獲得する財産である。一生懸命働けば、いくばかの財は築くであろう。しかし人との出会いからはどれほど多くの無形の財を得るだろうか。

(いのちの言葉 日野原 重明 より)

10月に入っても日中は強い日差しを受けますが、夕方になると涼しい風が吹き、日没の時間も早くなってきました。子どもたちは、季節の移り変わりを肌や視覚等で感じながら過ごし何かを感じとった時には側にいる大人や友だちに指差しや表情、喃語や言葉で思いを伝え、時には想像を超えるようなユニークさや驚くような発想をすることも多くあります。様々な場面においての人との関わりの中で、面白さや不思議さを共感したり、共鳴することで刺激を受け、より人は成長することが出来ます。人との出会いは新しい学びの機会であり、同じ価値観や考え方に心地よさを感じたり、全く別の思考に触れることで、視野や世界が広がり、想像力、発想力が豊かになることもあります。保育園での異年齢活動においては、年齢を越えたコミュニケーションにより、相手を思いやる気持ちが育まれ、より一層興味関心の幅を広げながら自己表現を楽しんでいます。乳幼児期から直接的、具体的な体験を通して心情、意欲、態度を培い、豊かな人生を育むために、一人ひとりの大きな力となる感じる心、感じる力を大切にしていきたいと思えます。

今月は運動会が開催されます。成長の喜びを感じながら、ぜひ親子でのふれあいを楽しむひとときとなりますよう願っております。

クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子

職員一同

10月聖句

その人は豊かに実を結ぶ。

ヨハネによる福音書 15章1節～17節(5節)

10月主題

「ひろがる」0歳

- ・保育者と一緒にさんびかを歌おうとする。
- ・全身を使って繰り返し遊ぶ。
- ・思っていること、見たことを身体で表現しようとする。

「ひろがる」1・2歳

- ・保育者や友だちと一緒に祈りさんびする。
- ・ともだちとの関わりを楽しみ、様々なことを共有しながら気持ちを深める。
- ・季節の移り変わりを全身で感じる。

～子どもたちの姿～

色づく木々に、地面に重なる落ち葉や木の実と、秋の訪れも目に見えて分かるようになってきました。新しい友達も増え、友だちが名前を読んだり、声をかけ遊びに誘ってくれる姿が見られたりと、思いやりの心の育みを感じます。また、運動面では少しずつ自分一人で座れるようになってきたり、伝い歩きをしたり、一人で歩き始めることが出来るようになり成長を感じられます。年齢に応じ、這う、くぐる、跨ぐ、ジャンプするなどの様々な動きを取り入れ、友だちと一緒に身体を動かす楽しさを味わいながら、新しい動きに挑戦している子もいます。子どもたちの可能性を伸ばしていけるような活動を取り入れながら育ちを支えていきたいと思えます。運動会では、いつもとは異なる環境のなかで泣いてしまったりすることもあるかもしれませんが、日々の成長を近くで感じて頂けたらと思えます。



【10月の讚美歌】

うれしいあぎの
きょうはうれしいかんしゃさい

【10月のうた】

やきいもグーチーパー
どんぐりころころ

	月	火	水	木	金	土	日
10月の予定表						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						
		スポーツの日	身体測定			運動会	
		検体提出					
	避難訓練	誕生日会			クレイシュ通信		
	ハロウィン						

◎18日に秋の検体提出があります。配布物を確認しわからないことがあれば、職員までお申し出ください。
◎21日の運動会の詳細は後日配布します。